



TECUM Letter

2018 年度 4 月号 創刊第 2 号 (通巻 3 号)

目次

0 はじめに — 2018 年度 TECUM の活動について	1
1 賛助会員のページ	2
2 出版関係者のページ	3
3 科学的世界像に反する道理、科学的世界像を支える数理	8
4 連載論考「数学の世界」と「物理学の世界」 No.3	10

0 はじめに — 2018 年度 TECUM の活動について

2月号でご報告致しましたように、2月にTECUM研究機関誌『数学教育のロゴスとプレクティケー 2018年第1号』に相当する研究会資料を発行し、2月10日(土曜日)に中央大学理工学部でTECUM定期研究会『数理教育セミナー 2018年度第1回』を開催しました。会場責任者の今井桂子教授をはじめ、TECUMの一般会員になりたての方、初めていらしていただいた皆様のご参加を得て、想定していた以上に、盛大に行われ、研究会(セミナー)終了後、一般会員からなる最初の総会(会社法上の「社員総会」)をもち、会員状況を報告や定款と諸規則の審議後、今後の具体的な詳細化を含めて、承認していただき、また、当面の運営のための理事会メンバーを選出しました。研究会には、伊達章氏(宮崎)、藤田景子氏(富山)、松村茂郎氏(福島)はじめ、地理的に遠方から参加して下さった方もいらっしゃいました。もっとも若い参加者は、平澤 勇人氏(20歳!)でした。

他方、研究会のアナウンスが届くのが遅れてしまったために、一般会員、個人特別賛助会員でいながら日程的、時間的な都合から参加できない方もたくさんいらっしゃいました。できる限り、そういう可能性を減らすためにも、また、総会のような事務手続きの透明性を保証するためにも、審議事項を含め、アナウンスをできる限り早めにやって行きたいと思います。

なお、一般会員、個人特別賛助会員以外に、研究会に参加費を払って参加下さった方もいらっしゃいました。

賛助会員のための広報機関誌「TECUM Letter」のバックナンバーについては、創刊準備号(2017年12月発行)は公開しておりますが、2018年以降のものについては、出版社からの出版を考慮して、会員の間での公開に止めています。会員になったのが遅かった方をはじめ、会員からの御要望があれば、それを tecumoffice@flexcool.net 宛にいただければ、理事会で検討した後、可及的速やかにお応え致します。

前回のお知らせ以降でもっとも重要なお知らせは藤田宏先生(東大名誉教授)が一般会員としてご加入下さったことです。賛助会員の皆様のご支援に応えることができますように、とずっと考えておりますが、藤田先生の御参加を得て、早ければ今年度中に、遅くとも来年度中には、優れた数学教育の研究(独創性と斬新性など)と実践(生徒の数学的知力の劇的向上など)に対する社会的な応援の象徴として『数学教育藤田賞』の贈呈を考えて行くことができるようになりました。

TECUM Letter 次号は6月発行です。賛助会員のページの益々の充実のために賛助会員の方の益々のご協力をお願いします。

一般会員のための研究機関誌『数学教育のロゴスとプレクティケー 2018年第2号』は、中大理工学部で開催される『数理教育セミナー 2018年度第2回』(2018年5月13日)に向けて準備中です。

長岡 亮介